

東京駅界限を歩く

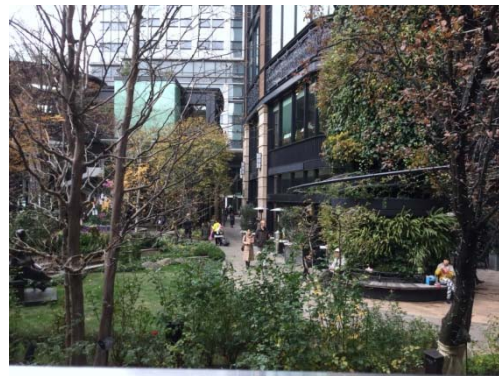
東京に行ったときの楽しみの一つが、赤レンガ駅舎が復元された東京駅である。何回見ても、その風格には心がときめく。駅舎の全体像をカメラに収めるのは困難だ。雑誌の特集で東京駅の「撮影スポット」を紹介したことがあった。旧東京中央郵便局を一部保存して建て替えられた、38階建てのJPタワーも代表的な展望スポットであった。JPタワーには、日本郵便株式会社と東大総合研究博物館が協働で運営する「インターメディアテク」(IMT)も設けられた。



「KITTE(キッテ)」と名づけられたフロアに入ると、広々とした明るいアトリウムがあった。いろいろなヒト・モノ・コトとの出会いをつなげる「キッテ」ということで、地下1階から6階までの7つのフロアには、全国各地のご当地名品を扱う店舗などが並んでいる。屋上庭園(KITTE ガーデン)に向かった。ここから東京駅全体が見わたせる。東京駅を間近かに眺める多くの人たちがいた。



東京駅を上からしっかり写真に撮って、すぐ近くの三菱一号館美術館に行った。2010年春に開館して、19世紀後半から20世紀前半の近代美術を主題とする企画展を年3回



開催している。赤レンガの建物は三菱が1894年建設の「三菱一号館」を復元したものであり、歴史を感じさせる味わいがある。日本を代表する大企業の本社などが立地する丸の内であって、文化の香りがする都心の空間、景観を形づくっている。

初めて訪ねたとき「ボストン美術館ミレー展」を開催していた。ミレーの傑作「種をまく人」などをじっくりと「見れー」て堪能した。

(2014年12月28日)